

2023年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月13日

上場会社名 株式会社INPEX 上場取引所 東
 コード番号 1605 URL <https://www.inpex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上田 隆之
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IRユニット (氏名) 脇田 嘉博 (TEL) 03-5572-0750
 定時株主総会開催予定日 2024年3月26日 配当支払開始予定日 2024年3月27日
 有価証券報告書提出予定日 2024年3月27日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期の連結業績（2023年1月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期	2,165,702	△6.8	1,121,844	△10.0	1,350,448	△6.3	371,531	△19.4
2022年12月期	2,324,660	—	1,246,408	—	1,441,995	—	461,069	—

(注) 包括利益 2023年12月期 575,268百万円 (△34.7%) 2022年12月期 880,770百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年12月期	287.05	—	9.4	21.1	51.8
2022年12月期	337.37	—	13.5	25.3	53.6

(参考) 持分法投資損益 2023年12月期 40,917百万円 2022年12月期 165,684百万円

(注) 2022年12月期に係る各数値については、会計方針の変更に伴い遡及修正が行われたため、遡及適用後の数値を記載しております。なお、対前期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期	6,523,182	4,419,182	63.5	3,289.78
2022年12月期	6,259,853	4,022,370	60.1	2,879.68

(参考) 自己資本 2023年12月期 4,139,353百万円 2022年12月期 3,760,852百万円

(注) 2022年12月期に係る各数値については、会計方針の変更に伴い遡及修正が行われたため、遡及適用後の数値を記載しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年12月期	786,324	△324,347	△480,339	200,879
2022年12月期	751,284	△525,574	△241,928	211,656

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年12月期	—	30.00	—	32.00	62.00	83,420	18.4	2.4
2023年12月期	—	37.00	—	37.00	74.00	94,943	25.8	2.4
2024年12月期(予想)	—	38.00	—	38.00	76.00		29.0	

(注1) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。甲種株式(非上場)の配当の状況については、別紙の「甲種株式の配当の状況」をご覧ください。

(注2) 2022年12月期に係る「配当性向(連結)」及び「純資産配当率(連結)」については、会計方針の変更に伴い遡及修正が行われたため、遡及適用後の数値を用いて算定しております。

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	1,043,000	—	544,000	—	559,000	—	155,000	—	123.19
通期	1,931,000	—	1,010,000	—	1,043,000	—	330,000	—	262.27

（注）当社グループは、2023年12月期の有価証券報告書における連結財務諸表から、従来の日本基準に替えて国際財務報告基準（IFRS）を任意適用することとしております。このため、2024年12月期の連結業績予想はIFRSに基づき作成しており、日本基準を適用していた2023年12月期の実績値に対する増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料13ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期	1,386,667,167株	2022年12月期	1,386,667,167株
② 期末自己株式数	2023年12月期	128,422,706株	2022年12月期	80,672,863株
③ 期中平均株式数	2023年12月期	1,294,325,142株	2022年12月期	1,366,647,207株

（注）期末自己株式数には、役員報酬BIP信託の保有する当社株式（2023年12月期 891,560株、2022年12月期 910,363株）が含まれています。

（参考）個別業績の概要

1. 2023年12月期の個別業績（2023年1月1日～2023年12月31日）

（1）個別経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期	265,246	10.0	21,262	—	39,517	△80.6	22,757	△90.2
2022年12月期	241,042	55.7	△11,091	—	203,674	—	231,656	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期	17.58	—
2022年12月期	169.51	—

（2）個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2023年12月期	2,657,503	1,918,170	1,918,170	72.2	1,524.48			
2022年12月期	3,035,629	2,108,065	2,108,065	69.4	1,614.15			

（参考）自己資本 2023年12月期 1,918,170百万円 2022年12月期 2,108,065百万円

<個別業績の前期実績値との差異理由>

当事業年度において、ガス価が上昇したことによる影響等により、売上高につきまして前事業年度の実績値と当事業年度の実績値との間に差異が生じております。また、売上高が増加したことによる影響等により、営業利益につきまして前事業年度の実績値と当事業年度の実績値との間に差異が生じております。また、当事業年度において、受取配当金が減少したことによる影響等により、経常利益及び当期純利益につきまして前事業年度の実績値と当事業年度の実績値との間に差異が生じております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、石油・天然ガス価格、生産・販売計画、プロジェクト開発スケジュール、政府規制、財務・税制条件等の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料4ページを参照してください。

(甲種類株式の配当の状況)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	12,000.00	—	12,800.00	24,800.00
2023年12月期	—	14,800.00	—	14,800.00	29,600.00
2024年12月期 (予想)	—	15,200.00	—	15,200.00	30,400.00

(注) 2013年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき400株の割合で株式分割を行っておりますが、甲種類株式(非上場)につきましては、株式分割を実施致しておりません。これに伴い、甲種類株式の配当については、当該株式分割前の普通株式と同等になるよう、定款で定めております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19
4. その他	20
(1) 生産、受注及び販売の状況	20

1. 経営成績等の概況

当連結会計年度より、会計方針の変更を行っており、前連結会計年度との比較分析にあたっては、遡及適用後の数値を用いております。詳細は、「3. 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご参照ください。

また、当連結会計年度より、報告セグメントの変更を行っており、前連結会計年度との比較分析にあたっては、一部の販売数量及び平均価格につき集計方法の見直しが反映された後の数値を用いております。

(1) 当期の経営成績の概況

当期における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響から緩やかに回復しました。雇用・所得環境が改善する下で、さらなる回復が続くことが期待されております。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっております。また、物価上昇、ロシア・ウクライナ情勢及びイスラエル・パレスチナ紛争、金融資本市場の変動等の影響は引き続き懸念されております。

当社グループの業績に大きな影響を及ぼす国際原油価格は、代表的指標の一つであるブレント原油(期近物終値ベース)で当期は1バレル当たり82.10米ドルから始まり、1月は中国のゼロコロナ政策の終了による原油需要の回復への期待等を背景に原油価格は続伸しました。その後は、春先にかけて米欧の複数の金融機関の経営難が世界経済を下押しするリスク懸念から概ね70~75米ドル程度で推移しましたが、原油価格は上昇トレンドを描き、9月後半には一時的に95米ドル超の値をつけました。10月に入るとイスラエル・パレスチナ紛争を背景に原油価格が一時的に乱高下する不安定な局面もありました。12月のOPEC+の会合にて、産油国による原油生産目標の引き下げ(減産強化)が見送られた結果、当該減産規模に関する不透明感が市場で強まったこと等から原油価格は軟調に推移し、年度末で77.04米ドルとなりました。これらを反映して、当期における当社グループの原油の平均販売価格は、前期に比べ、1バレル当たり14.88米ドル下落し、82.83米ドルとなりました。

一方、業績に重要な影響を与えるもう一つの要因である為替相場ですが、当期は1米ドル131円台で始まりました。前半は、日銀による政策修正観測の高まりから日米金利差の縮小が意識され、一時127円台まで円高が進みましたが、日銀の政策金利据置の決定や好調な米経済指標の影響を受けて米ドルが買われ、ほぼ一貫して円安が進行しました。後半は米国のインフレ鈍化観測や日銀金融政策の是正観測により、一時138円台まで米ドル安が進行しましたが、その後は堅調な米国経済指標や日銀による金融緩和の長期化観測を踏まえ再び円安が進行し11月には151円台後半まで値を上げました。期末にかけては米連邦準備理事会(FRB)による利下げ示唆や米経済指標の下振れなどを受けやや円高が進行し、期末公示仲値(TTM)は前期末から9円12銭円安の141円82銭となりました。なお、当社グループ売上の期中平均レートは、前期に比べ、8円87銭円安の1米ドル140円62銭となりました。

当社の当期連結業績につきましては、原油の販売価格の下落により、売上高は前期比1,589億円、6.8%減の2兆1,657億円となりました。このうち、原油売上高は前期比1,694億円、9.5%減の1兆6,092億円、天然ガス売上高は前期比106億円、2.0%増の5,357億円です。当期の販売数量は、原油が前期比92千バレル、0.1%減の138,024千バレルとなり、天然ガスは前期比37,398百万立方フィート、8.5%増の479,814百万立方フィートとなりました。このうち、海外天然ガスは前期比36,825百万立方フィート、10.5%増の387,974百万立方フィート、国内天然ガスは前期比16百万立方メートル、0.6%増の2,452百万立方メートル、立方フィート換算では91,502百万立方フィートです。販売価格は、海外原油売上の平均価格が1バレル当たり82.83米ドルとなり、前期比14.88米ドル、15.2%下落、海外天然ガス売上の平均価格は千立方フィート当たり5.62米ドルとなり、前期比1.27米ドル、18.4%下落、また、国内天然ガスの平均価格は立方メートル当たり90円08銭となり、前期比8円10銭、9.9%上昇しております。売上高の平均為替レートは1米ドル140円62銭となり、前期比8円87銭、6.7%の円安となりました。

売上高の減少額1,589億円を要因別に分析しますと、販売数量の増加により366億円の増収、平均単価の下落により3,200億円の減収、売上の平均為替レートが円安となったことにより1,245億円の増収、その他の売上高が1億円の減収となりました。

一方、売上原価は前期比494億円、5.2%減の8,939億円、探鉱費は前期比122億円、42.0%増の414億円、販売費及び一般管理費は前期比28億円、2.7%増の1,084億円です。以上の結果、営業利益は前期比1,245億円、10.0%減の1兆1,218億円となりました。

営業外収益は前期比246億円、7.3%減の3,110億円、営業外費用は金融資産の条件変更等から生じる損失の剥落等により、前期比576億円、41.1%減の824億円となりました。以上の結果、経常利益は前期比915億円、6.3%減の1兆3,504億円となりました。

特別損失は、豪州での環境規制強化等を含む外部環境の変化等に伴い一部プロジェクトで減損損失を計上したことにより890億円となりました。法人税、住民税及び事業税と法人税等調整額の合計額は前期比714億円、7.5%減の8,800億円、非支配株主に帰属する当期純利益は98億円となりました。以上の結果、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比895億円、19.4%減の3,715億円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、当連結会計年度より、セグメント利益及び報告セグメントを変更しており、前連結会計年度との比較分析にあたっては、変更後のセグメント利益及び報告セグメントに基づく数値を用いております。詳細は、「3. 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」をご参照ください。

① 国内石油・天然ガス事業(国内O&G)

ガス価の上昇により、売上高は前期比182億円、8.5%増の2,328億円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比61億円、17.2%増の419億円となりました。

② 海外石油・天然ガス事業(海外O&G) — イクシスプロジェクト

販売数量の増加により、売上高は前期比46億円、1.3%増の3,731億円となりましたが、金融資産の条件変更等から生じる損失の剥落等により、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比97億円、3.3%増の3,026億円となりました。

③ 海外石油・天然ガス事業(海外O&G) — その他のプロジェクト

油価の下落により、売上高は前期比1,923億円、11.2%減の1兆5,295億円となりましたが、減損損失の増加等により、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比747億円、63.2%減の435億円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は6兆5,231億円となり、前連結会計年度末の6兆2,598億円と比較して2,633億円の増加となりました。このうち、流動資産は8,182億円で、有価証券の増加等により前連結会計年度末と比較して888億円の増加となりました。固定資産は5兆7,049億円で、投資その他の資産の増加等により前連結会計年度末と比較して1,744億円の増加となりました。

一方、負債は2兆1,040億円となり、前連結会計年度末の2兆2,374億円と比較して1,334億円の減少となりました。このうち、流動負債は5,658億円で、前連結会計年度末と比較して390億円の増加、固定負債は1兆5,381億円で、前連結会計年度末と比較して1,725億円の減少となりました。

純資産は4兆4,191億円となり、前連結会計年度末の4兆223億円と比較して3,968億円の増加となりました。このうち、株主資本は3兆983億円で、前連結会計年度末と比較して1,900億円の増加となりました。その他の包括利益累計額は1兆409億円で、前連結会計年度末と比較して1,884億円の増加、非支配株主持分は2,798億円で、前連結会計年度末と比較して183億円の増加となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度の連結キャッシュ・フローは、原油の販売価格の下落による税金等調整前当期純利益の減少や非資金項目である金融資産の条件変更等から生じる利益の計上があったものの、売上債権の減少や非資金項目である持分法による投資損益の減少等により、営業活動の結果得られた資金は前期比350億円増加の7,863億円となりました。投資活動の結果使用した資金は、有価証券の取得による支出が増加したものの、有価証券の売却及び償還による収入の計上や長期貸付けによる支出の減少等により前期比2,012億円減少の3,243億円となりました。財務活動の結果使用した資金は、長期借入金の返済による支出の増加等により前期比2,384億円増加の4,803億円となりました。現金及び現金同等物に係る換算差額は75億円のプラスとなり、これを加えた結果、当期中に減少した資金は107億円となりました。当連結会計年度末の現金及び現金同等物の残高は、期首の2,116億円に当期中に減少した資金107億円を差し引いた2,008億円となりました。

(4) 今後の見通し

通期	2024年12月期 (予想)
売上収益 (億円)	19,310
営業利益 (億円)	10,100
税引前利益 (億円)	10,430
親会社の所有者に帰属する当期利益 (億円)	3,300

当社グループは、2023年12月期の有価証券報告書における連結財務諸表から、従来の日本基準に替えて国際財務報告基準(IFRS)を任意適用することとしております。このため、2024年12月期の連結業績予想はIFRSに基づき作成しております。

なお、上記見通しは、原油価格(ブレント原油)を、1バレル当たり第1四半期平均で78米ドル、第2四半期平均で73米ドル、第3四半期平均で73米ドル、第4四半期平均で68米ドル、通期平均で73米ドル、為替レートを、年度を通じて1米ドル138円として算出しております。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

2022年2月に公表しました「長期戦略と中期経営計画(INPEX Vision @2022)」でお示しした還元方針においては、2022年度から2024年度の中期経営計画期間中は、総還元性向40%以上を目途とし、1株当たりの年間配当金の下限を30円に設定するなど、安定的な配当を基本としつつ、事業環境、財務体質、経営状況等を踏まえた自己株式取得を含む、業績の成長に応じた株主還元強化に取り組むことを基本方針としております。

また、2023年8月に公表しました「企業価値の持続的向上に向けて」において、1株当たりの年間配当金につき2023年12月期は74円とするとともに、2024年12月期は前期を下回らない金額とするよう最大限努力することといたしました。

上記還元方針を踏まえ、当事業年度の剰余金の配当につきまして、普通株式の期末配当金は1株当たり37円とし、中間配当金の1株当たり37円とあわせ、1株当たり年間74円を予定しております。また、甲種株式(非上場)の期末配当金は1株当たり14,800円とし、中間配当金の1株当たり14,800円とあわせ、1株当たり年間29,600円を予定しております。

次期の配当予想額につきましては、普通株式は1株当たり中間配当金38円、期末配当金38円の1株当たり年間76円を予定しております。また、甲種株式は1株当たり中間配当金15,200円、期末配当金15,200円の1株当たり年間30,400円を予定しております。

なお、2013年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき400株の割合で株式分割を行っておりますが、甲種株式につきましては、株式分割を実施致しておりません。これに伴い、甲種株式の配当については、当該株式分割前の普通株式と同等になるよう、定款で定めております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、財務情報の国際的な比較可能性と会計処理統一によるグループ経営管理の向上を目的として、2023年12月期の有価証券報告書における連結財務諸表から、従来の日本基準に替えて国際財務報告基準(IFRS)を任意適用することといたしました。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当連結会計年度 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	227,829	169,241
受取手形、売掛金及び契約資産	252,938	198,128
有価証券	58,152	243,087
棚卸資産	68,154	68,660
未収入金	61,758	64,845
その他	73,588	88,208
貸倒引当金	△13,020	△13,915
流動資産合計	729,401	818,256
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	157,137	152,597
坑井（純額）	340,259	332,209
機械装置及び運搬具（純額）	1,583,141	1,515,980
土地	18,178	18,096
建設仮勘定	339,787	411,330
その他（純額）	34,615	36,320
有形固定資産合計	2,473,118	2,466,534
無形固定資産		
のれん	40,332	32,020
探鉱開発権	152,178	152,015
鉱業権	283,518	288,429
その他	6,674	9,008
無形固定資産合計	482,704	481,473
投資その他の資産		
投資有価証券	742,914	900,235
長期貸付金	1,279,383	1,306,529
生産物回収勘定	521,541	483,386
繰延税金資産	69,705	97,435
退職給付に係る資産	1,734	4,506
その他	15,765	24,286
貸倒引当金	△690	△743
生産物回収勘定引当金	△53,873	△56,060
探鉱投資引当金	△1,852	△2,658
投資その他の資産合計	2,574,629	2,756,918
固定資産合計	5,530,452	5,704,926
資産合計	6,259,853	6,523,182

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当連結会計年度 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	47,183	38,064
短期借入金	75,878	161,059
未払法人税等	126,675	136,634
未払金	118,448	111,702
賞与引当金	1,458	1,994
役員賞与引当金	130	120
事業損失引当金	8,631	3,080
探鉱事業引当金	3,391	9,416
資産除去債務	15,504	19,018
その他	129,439	84,731
流動負債合計	526,740	565,821
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	1,164,369	865,923
繰延税金負債	192,507	278,864
株式給付引当金	245	422
特別修繕引当金	705	663
退職給付に係る負債	689	803
資産除去債務	303,159	345,256
その他	19,064	16,245
固定負債合計	1,710,742	1,538,179
負債合計	2,237,483	2,104,000
純資産の部		
株主資本		
資本金	290,809	290,809
資本剰余金	683,382	683,898
利益剰余金	2,055,459	2,345,007
自己株式	△121,358	△221,330
株主資本合計	2,908,293	3,098,386
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,147	3,999
繰延ヘッジ損益	32,421	30,224
為替換算調整勘定	815,989	1,006,742
その他の包括利益累計額合計	852,558	1,040,966
非支配株主持分	261,517	279,829
純資産合計	4,022,370	4,419,182
負債純資産合計	6,259,853	6,523,182

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
売上高	2,324,660	2,165,702
売上原価	943,414	893,934
売上総利益	1,381,245	1,271,768
探鉱費	29,202	41,467
販売費及び一般管理費	105,634	108,456
営業利益	1,246,408	1,121,844
営業外収益		
受取利息	64,687	95,389
受取配当金	9,499	4,523
持分法による投資利益	165,684	40,917
生産物回収勘定引当金戻入益	7,396	—
為替差益	30,375	31,937
金融資産の条件変更等から生じる利益	—	116,507
その他	57,995	21,757
営業外収益合計	335,638	311,031
営業外費用		
支払利息	32,378	55,982
生産物回収勘定引当金繰入額	—	2,187
金融資産の条件変更等から生じる損失	85,483	—
遊休資産関連費用	9,503	10,470
その他	12,686	13,786
営業外費用合計	140,051	82,427
経常利益	1,441,995	1,350,448
特別損失		
減損損失	25,799	89,048
特別損失合計	25,799	89,048
税金等調整前当期純利益	1,416,196	1,261,400
法人税、住民税及び事業税	952,982	831,282
法人税等調整額	△1,476	48,782
法人税等合計	951,506	880,064
当期純利益	464,689	381,335
非支配株主に帰属する当期純利益	3,620	9,804
親会社株主に帰属する当期純利益	461,069	371,531

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
当期純利益	464,689	381,335
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,581	△148
繰延ヘッジ損益	195	337
為替換算調整勘定	355,243	188,303
持分法適用会社に対する持分相当額	59,060	5,440
その他の包括利益合計	416,081	193,933
包括利益	880,770	575,268
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	870,186	559,939
非支配株主に係る包括利益	10,584	15,329

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	290,809	681,398	1,783,841	△75,425	2,680,624
会計方針の変更による累積的影響額			△33,776		△33,776
会計方針の変更を反映した当期首残高	290,809	681,398	1,750,065	△75,425	2,646,848
当期変動額					
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		1,984			1,984
剰余金の配当			△80,426		△80,426
親会社株主に帰属する当期純利益			461,069		461,069
自己株式の取得				△121,191	△121,191
自己株式の処分				10	10
自己株式の消却			△75,248	75,248	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	1,984	305,394	△45,932	261,445
当期末残高	290,809	683,382	2,055,459	△121,358	2,908,293

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	2,640	△16,171	456,972	443,441	222,344	3,346,409
会計方針の変更による累積的影響額						△33,776
会計方針の変更を反映した当期首残高	2,640	△16,171	456,972	443,441	222,344	3,312,633
当期変動額						
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						1,984
剰余金の配当						△80,426
親会社株主に帰属する当期純利益						461,069
自己株式の取得						△121,191
自己株式の処分						10
自己株式の消却						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,507	48,592	359,017	409,117	39,173	448,291
当期変動額合計	1,507	48,592	359,017	409,117	39,173	709,736
当期末残高	4,147	32,421	815,989	852,558	261,517	4,022,370

当連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	290,809	683,382	2,055,459	△121,358	2,908,293
当期変動額					
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		516			516
剰余金の配当			△90,176		△90,176
親会社株主に帰属する当期純利益			371,531		371,531
自己株式の取得				△99,999	△99,999
自己株式の処分				28	28
連結範囲の変動			8,193		8,193
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	516	289,548	△99,971	190,092
当期末残高	290,809	683,898	2,345,007	△221,330	3,098,386

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	4,147	32,421	815,989	852,558	261,517	4,022,370
当期変動額						
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						516
剰余金の配当						△90,176
親会社株主に帰属する当期純利益						371,531
自己株式の取得						△99,999
自己株式の処分						28
連結範囲の変動						8,193
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△148	△2,196	190,752	188,408	18,311	206,719
当期変動額合計	△148	△2,196	190,752	188,408	18,311	396,811
当期末残高	3,999	30,224	1,006,742	1,040,966	279,829	4,419,182

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,416,196	1,261,400
減価償却費	292,560	252,285
減損損失	25,799	89,048
遊休資産関連費用	9,503	10,470
のれん償却額	8,963	8,910
生産物回収勘定引当金の増減額 (△は減少)	△7,396	2,187
探鉱事業引当金の増減額 (△は減少)	△6,738	5,804
その他の引当金の増減額 (△は減少)	837	△3,135
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△7,854	113
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△1,734	△2,813
受取利息及び受取配当金	△74,186	△99,913
支払利息	32,446	56,045
為替差損益 (△は益)	△5,500	△6,369
持分法による投資損益 (△は益)	△165,684	△40,917
金融資産の条件変更等から生じる損失	85,483	—
金融資産の条件変更等から生じる利益	—	△116,507
生産物回収勘定 (資本支出) の回収額	70,781	84,017
生産物回収勘定 (非資本支出) の増減額 (△は増加)	△5,359	△10,349
売上債権の増減額 (△は増加)	△57,090	62,638
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△16,140	913
仕入債務の増減額 (△は減少)	21,775	△15,520
未収入金の増減額 (△は増加)	△10,295	5,198
未払金の増減額 (△は減少)	4,738	△10,190
前受金の増減額 (△は減少)	△113	△1,925
その他	△3,749	18,533
小計	1,607,241	1,549,927
利息及び配当金の受取額	70,081	116,793
利息の支払額	△20,016	△51,343
法人税等の支払額	△906,022	△829,052
営業活動によるキャッシュ・フロー	751,284	786,324

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△47,770	△38,145
定期預金の払戻による収入	43,772	26,831
長期預金の預入による支出	△3,291	△28,132
長期預金の払戻による収入	—	14,066
有形固定資産の取得による支出	△187,100	△174,008
有形固定資産の売却による収入	2,595	320
無形固定資産の取得による支出	△1,877	△3,816
有価証券の取得による支出	△57,651	△361,665
有価証券の売却及び償還による収入	—	301,665
投資有価証券の取得による支出	△108,412	△144,043
投資有価証券の売却及び償還による収入	47,142	11,062
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	△31,410	—
生産物回収勘定（資本支出）の支出	△39,095	△35,568
短期貸付金の増減額（△は増加）	398	△2,004
長期貸付けによる支出	△335,297	△3,783
長期貸付金の回収による収入	158,497	152,153
権益取得による支出	△7,689	△28,767
その他	41,615	△10,512
投資活動によるキャッシュ・フロー	△525,574	△324,347
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△5,450	20,121
長期借入れによる収入	164,105	102,895
長期借入金の返済による支出	△217,584	△404,210
非支配株主からの払込みによる収入	21,653	11,792
自己株式の取得による支出	△121,191	△99,999
配当金の支払額	△80,399	△90,147
非支配株主への配当金の支払額	△11,140	△8,294
その他	8,078	△12,496
財務活動によるキャッシュ・フロー	△241,928	△480,339
現金及び現金同等物に係る換算差額	36,662	7,585
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	20,443	△10,777
現金及び現金同等物の期首残高	191,213	211,656
現金及び現金同等物の期末残高	211,656	200,879

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IAS第12号「法人所得税」(2021年5月改訂))

当社グループの一部の在外連結子会社及び在外持分法適用関連会社は、当連結会計年度より、IAS第12号「法人所得税」(2021年5月改訂)を適用しております。

本改訂により、リース及び廃棄義務のように、取引時に同額の将来加算一時差異と将来減算一時差異が生じる場合、企業はそれにより生じる繰延税金負債及び繰延税金資産を認識することが明確になりました。本改訂は遡及適用され、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表においては、遡及適用を行う前と比べて投資有価証券が2,451百万円減少、繰延税金負債が13,540百万円増加、利益剰余金が10,983百万円減少、為替換算調整勘定が5,008百万円減少しております。また、前連結会計年度の連結損益計算書においては、遡及適用を行う前と比べて持分法による投資利益が3,752百万円増加、法人税等調整額が19,040百万円減少しております。なお、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、前連結会計年度の連結株主資本等変動計算書においては、利益剰余金の期首残高が33,776百万円減少しております。

(追加情報)

(金融資産の条件変更等から生じる利益及び金融資産の条件変更等から生じる損失)

在外子会社が適用する国際財務報告基準(IFRS)第9号「金融商品」に基づき計上した、認識の中止を伴わない金融資産の条件変更、及び金融資産の見積将来キャッシュ・フローの改定等から生じた損益であります。

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、当連結会計年度から、単体納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日)に従っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。今般、当社グループでは、2022年に公表した中期経営計画に基づく事業ポートフォリオの大幅な組替えやそれに伴う取締役会での評価・分析指標の見直し等に伴い、セグメント利益及び報告セグメントの変更を行いました。

従来セグメント利益は連結損益計算書の営業利益と調整しておりましたが、親会社株主に帰属する当期純利益を中期経営計画の経営目標としていること、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績評価に用いる指標であることから、より実態に即した評価・分析を行うために、当連結会計年度よりセグメント利益を連結損益計算書の親会社株主に帰属する当期純利益に変更しております。また、当社グループはグローバルな石油・天然ガスの探鉱、開発、生産、販売及びそれらを行う企業に対する投融資、すなわち「石油・天然ガス事業（以下「O&G」という。）」を主たる事業としてきたことから、従来地域別の報告セグメントを採用しておりましたが、事業ポートフォリオの大幅な組替えや長期戦略にネットゼロ5分野への取り組みが追加されたこと等から、当連結会計年度より、報告セグメントを「国内O&G」及び「海外O&G」に区分し、「海外O&G」については、当社グループの主要オペレーター・プロジェクトである「イクシスプロジェクト」とそれ以外の海外プロジェクトから構成される「その他のプロジェクト」に区分しております。なお、ネットゼロ5分野等、報告セグメントに含まれない事業セグメントについては「その他」の区分に集約しております。

変更後の報告セグメント及びその他の内容は以下のとおりです。

報告セグメント等		主な事業及びプロジェクト名
国内O&G		南長岡ガス田、直江津LNG基地
海外O&G	イクシスプロジェクト	豪州イクシス及び周辺探鉱
	その他のプロジェクト	豪州（イクシス除く）・東南アジア・欧州・アブダビ等におけるプロジェクト
その他		ネットゼロ5分野、輸送・販売事業、土木事業等

なお、前連結会計年度のセグメント情報は、当該変更後の区分に基づき作成したものを開示しております。また、当連結会計年度より、会計方針の変更を行っており、前連結会計年度は遡及適用後の数値となっております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。セグメント間の売上高は、第三者間取引価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	計	調整額 (注2)	連結 財務諸表 計上額 (注3)
	国内O&G	海外O&G					
		イクシス プロジェクト	その他の プロジェクト				
売上高							
外部顧客への売上高	214,600	368,503	1,721,896	19,659	2,324,660	—	2,324,660
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,102	23,348	—	5,513	34,964	△34,964	—
計	220,703	391,851	1,721,896	25,172	2,359,624	△34,964	2,324,660
セグメント利益又は損 失(△)	35,772	292,895	118,340	△5,346	441,662	19,406	461,069
セグメント資産	281,370	3,553,161	1,957,119	153,516	5,945,167	314,685	6,259,853
その他の項目							
減価償却費	14,430	110,903	165,440	894	291,668	891	292,560
のれん償却額	—	—	2,010	—	2,010	6,952	8,963
持分法適用会社への 投資額	—	470,007	101,594	84,710	656,312	—	656,312
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	10,597	91,336	201,752	3,086	306,771	8,096	314,870

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ネットゼロ5分野等を含んでおります。

- 2 (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額19,406百万円は、セグメント間取引消去747百万円、報告セグメント及び「その他」の区分に配分していない全社損益18,658百万円であります。全社損益の主なものは、主に当社グループで発生した実際の法人税等と、社内を設定している計算方法により各セグメントに配分した法人税等との差異等であります。
- (2) セグメント資産の調整額314,685百万円は、セグメント間取引△410百万円、各報告セグメント及び「その他」の区分に配分していない全社資産315,096百万円であります。全社資産の主なものは、報告セグメントに帰属しないのれん、現預金、投資有価証券及び管理部門に係る資産であります。
- (3) 減価償却費の調整額891百万円は、主に管理部門の資産に係る減価償却費であります。
- (4) のれんの償却額の調整額6,952百万円は、各報告セグメントに配分していないのれんの償却額であります。
- (5) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額8,096百万円は、主に管理部門に係る設備投資額であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の親会社株主に帰属する当期純利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	計	調整額 (注2)	連結 財務諸表 計上額 (注3)
	国内O&G	海外O&G					
		イクシス プロジェクト	その他の プロジェクト				
売上高							
外部顧客への売上高	232,897	373,173	1,529,555	30,076	2,165,702	—	2,165,702
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,974	20,446	—	13,975	41,396	△41,396	—
計	239,872	393,619	1,529,555	44,052	2,207,099	△41,396	2,165,702
セグメント利益又は損 失(△)	41,938	302,651	43,594	△10,240	377,943	△6,412	371,531
セグメント資産	258,344	3,706,297	1,838,418	223,602	6,026,662	496,519	6,523,182
その他の項目							
減価償却費	16,126	128,307	105,577	1,101	251,113	1,172	252,285
のれん償却額	—	—	1,957	—	1,957	6,952	8,910
持分法適用会社への 投資額	—	537,105	118,935	156,812	812,853	—	812,853
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	8,795	88,654	110,403	1,453	209,307	6,147	215,455

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ネットゼロ5分野等を含んでおります。

- 2 (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△6,412百万円は、セグメント間取引消去2,005百万円、報告セグメント及び「その他」の区分に配分していない全社費用△8,417百万円であります。全社費用の主なものは、報告セグメント及び「その他」の区分に帰属しないのれんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。
- (2) セグメント資産の調整額496,519百万円は、セグメント間消去△199百万円、各報告セグメント及び「その他」の区分に配分していない全社資産496,719百万円であります。全社資産の主なものは、報告セグメントに帰属しないのれん、現預金、投資有価証券及び管理部門に係る資産であります。
- (3) 減価償却費の調整額1,172百万円は、主に管理部門の資産に係る減価償却費であります。
- (4) のれんの償却額の調整額6,952百万円は、各報告セグメントに配分していないのれんの償却額であります。
- (5) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額6,147百万円は、主に管理部門に係る設備投資額であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の親会社株主に帰属する当期純利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:百万円)

	原油	天然ガス (LPGを除く)	LPG	その他	合計
外部顧客への売上高	1,778,662	521,676	3,469	20,851	2,324,660

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:百万円)

日本	アジア・オセアニア (中国・タイ除く)	中国	タイ	その他	合計
908,073	553,395	346,209	151,279	365,701	2,324,660

(注) 売上高は最終仕向地及び販売先を基準とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	オーストラリア	アラブ首長国連邦	その他	合計
220,634	1,847,957	306,125	98,401	2,473,118

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
Ichthys LNG Pty Ltd	212,364	海外O&G - イクシスプロジェクト

当連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:百万円)

	原油	天然ガス (LPGを除く)	LPG	その他	合計
外部顧客への売上高	1,609,207	527,895	7,886	20,713	2,165,702

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:百万円)

日本	アジア・オセアニア (中国・タイ除く)	中国	タイ	その他	合計
781,488	496,934	343,705	226,265	317,308	2,165,702

(注) 売上高は最終仕向地及び販売先を基準とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	オーストラリア	アラブ首長国連邦	その他	合計
217,552	1,833,231	332,438	83,312	2,466,534

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
Ichthys LNG Pty Ltd	228,313	海外O&G - イクシスプロジェクト

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	計	調整額	連結 財務諸表 計上額
	国内O&G	海外O&G					
		イクシス プロジェクト	その他の プロジェクト				
減損損失	—	—	25,799	—	25,799	—	25,799

当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	計	調整額	連結 財務諸表 計上額
	国内O&G	海外O&G					
		イクシス プロジェクト	その他の プロジェクト				
減損損失	—	—	89,048	—	89,048	—	89,048

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	計	調整額 (注1)	連結 財務諸表 計上額
	国内O&G	海外O&G					
		イクシス プロジェクト	その他の プロジェクト				
当期末残高	—	—	17,735	—	17,735	22,597	40,332

(注) 1 報告セグメントに帰属しない全社ののれんの未償却残高であります。

2 のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の記載を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	計	調整額 (注1)	連結 財務諸表 計上額
	国内O&G	海外O&G					
		イクシス プロジェクト	その他の プロジェクト				
当期末残高	—	—	16,376	—	16,376	15,644	32,020

(注) 1 報告セグメントに帰属しない全社ののれんの未償却残高であります。

2 のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の記載を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり純資産額並びに1株当たり当期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
(1) 1株当たり純資産額	2,879円68銭	3,289円78銭

項目	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
(2) 1株当たり当期純利益	337円37銭	287円05銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	461,069	371,531
普通株主に帰属しない金額(百万円)	0	0
(うち甲種類株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円))	(0)	(0)
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利 益(百万円)	461,069	371,531
普通株式の期中平均株式数(株)	1,366,647,207	1,294,325,142

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 2 株主資本において自己株式として計上されている役員報酬BIP信託が保有する当社株式は、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めており、また、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。なお、1株当たり純資産額の算定上、控除した当該自己株式数は前連結会計年度910,363株、当連結会計年度891,560株であり、また、1株当たり当期純利益の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は前連結会計年度603,363株、当連結会計年度897,293株であります。
- 3 当連結会計年度より、会計方針の変更を行っており、前連結会計年度は遡及適用後の数値を記載しております。この結果、前連結会計年度の1株当たり純資産額は12円25銭減少、1株当たり当期純利益は16円68銭増加しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

当連結会計年度より報告セグメントを変更しており、前連結会計年度の数値は、変更後の区分に基づき作成したものを開示しております。

① 生産実績

セグメントごとの生産実績は次のとおりであります。

セグメントの名称		区分	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
国内O&G		原油	1.0百万バレル (日量2.6千バレル)	0.9百万バレル (日量2.5千バレル)
		天然ガス	36.8十億CF (日量100.9百万CF)	34.4十億CF (日量94.3百万CF)
		小計	7.7百万BOE (日量21.0千BOE)	7.2百万BOE (日量19.7千BOE)
		ヨード	559.1t	541.4t
		発電	193.7百万kWh	183.8百万kWh
海外O&G	イクシス プロジェクト	原油	12.4百万バレル (日量34.0千バレル)	12.3百万バレル (日量33.7千バレル)
		天然ガス	322.6十億CF (日量883.9百万CF)	354.2十億CF (日量970.5百万CF)
		小計	75.1百万BOE (日量205.8千BOE)	80.4百万BOE (日量220.2千BOE)
	その他の プロジェクト	原油	129.1百万バレル (日量353.6千バレル)	126.5百万バレル (日量346.6千バレル)
		天然ガス	82.7十億CF (日量226.7百万CF)	87.4十億CF (日量239.4百万CF)
		小計	144.3百万BOE (日量395.4千BOE)	142.5百万BOE (日量390.4千BOE)
		硫黄	61.1千t	153.1千t
	その他		発電	744.3百万kWh
合計		原油	142.5百万バレル (日量390.3千バレル)	139.7百万バレル (日量382.8千バレル)
		天然ガス	442.2十億CF (日量1,211.5百万CF)	476.1十億CF (日量1,304.3百万CF)
		小計	227.1百万BOE (日量622.2千BOE)	230.1百万BOE (日量630.3千BOE)
		ヨード	559.1t	541.4t
		硫黄	61.1千t	153.1千t
		発電	937.9百万kWh	1,726.4百万kWh

(注) 1 海外で生産されたLPGは原油に含みます。

2 原油及び天然ガス生産量の一部は、発電燃料として使用しております。

3 上記の生産量は持分法適用関連会社の持分を含みます。

4 当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの原油及び天然ガスの生産量は、正味経済的取分に相当する数値を示しております。なお、当社グループの権益比率ベースの生産量は、前連結会計年度は原油153.2百万バレル(日量419.6千バレル)、天然ガス452.7十億CF(日量1,240.3百万CF)、合計239.7百万BOE(日量656.6千BOE)、当連結会計年度は原油147.1百万バレル(日量403.1千バレル)、天然ガス486.0十億CF(日量1,331.4百万CF)、合計239.5百万BOE(日量656.0千BOE)となります。

- 5 BOE (Barrels of Oil Equivalent) 原油換算量
 6 ヨードは、他社への委託精製によるものであります。
 7 数量は小数点第2位を四捨五入しております。

② 受注実績

当社グループの販売実績のうち、受注高が占める割合は僅少であるため受注実績の記載は省略しております。

③ 販売実績

セグメントごとの販売実績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	区分	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)		当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)		
		販売量	売上高	販売量	売上高	
国内O&G	原油	468千バレル	5,989	412千バレル	4,539	
	天然ガス (LPGを除く)	90,917百万CF	199,715	91,502百万CF	220,855	
	LPG	1千バレル	5	—	—	
	その他		8,889		7,502	
	小計		214,600		232,897	
海外O&G	イクシス プロジェクト	原油	11,880千バレル	156,139	12,526千バレル	144,859
		天然ガス (LPGを除く)	288,140百万CF	212,364	327,735百万CF	228,313
		小計		368,503		373,173
	その他の プロジェクト	原油	125,768千バレル	1,611,177	125,086千バレル	1,449,287
		天然ガス (LPGを除く)	63,008百万CF	108,054	60,239百万CF	77,048
		LPG	108千バレル	878	452千バレル	2,968
		その他		1,786		250
		小計		1,721,896		1,529,555
	その他	原油	—	5,356	—	10,520
		天然ガス (LPGを除く)	350百万CF	1,542	338百万CF	1,677
LPG		—	2,584	—	4,917	
その他			10,175		12,961	
小計			19,659		30,076	
合計	原油	138,116千バレル	1,778,662	138,024千バレル	1,609,207	
	天然ガス (LPGを除く)	442,416百万CF	521,676	479,814百万CF	527,895	
	LPG	109千バレル	3,469	452千バレル	7,886	
	その他		20,851		20,713	
	合計		2,324,660		2,165,702	